

【卒業研究の要旨】

本研究においては、水害ハザードマップの必要性や認知度、それを周知していくために自治体が行っている政策・課題・方法などを調べる。特に水害被害が多い熊本県人吉市および球磨村について研究していくが、場合によっては全国と比較しながら進めていく。対象となる地域の地形や過去の水害被害、球磨村で行われたアンケート結果から住民の防災意識などこれから水害ハザードマップをどう普及させていくべきなのかを関連法律と絡めながら提言する。また、ハザードマップ以外の自助に対する有効な対策とされているタイムラインについても同じように必要性や普及状況から改善点を考えこれからのあり方などについて検討していく。